

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成20年8月1日(金) 四回戦

Nコート 第2試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA			20 - 16 30 - 15 25 - 11 14 - 23		チームB
桜花学園	89		65		樟蔭東
愛知					大阪

桜花学園

文化庁

番 号	氏 名	出 場	得 点	3 P		2 P		FT		反 則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					単位:分
4	後 藤 美 紀	/	2	0	3	1	4	0	0	0	1	4	3	0	4	0	28
5	外 山 優 子	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
6	岡 本 彩 也 花	X	6	0	2	3	8	0	0	0	1	6	1	0	7	0	30
7	水 島 沙 紀	X	2	0	1	1	2	0	0	2	0	6	4	0	1	0	18
8	丹 羽 裕 美	X	36	0	0	16	19	4	8	2	5	8	1	1	2	0	30
9	本 多 真 実	X	7	1	3	2	4	0	0	0	1	4	2	1	3	0	35
10	梅 木 智 加 子	/	2	0	0	0	2	2	2	1	1	0	1	0	0	0	5
11	大西ム-アディソンまどか	/	4	0	0	2	3	0	0	3	3	1	1	0	0	0	10
12	長 尾 咲	/	2	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4
13	村 瀬 瞳 子	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
14	磯 部 夏 紀		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	渡 嘉 敷 来 夢	X	28	0	0	13	20	2	7	3	3	12	2	0	4	6	35
コーチ	井 上 眞 一	/	/	/	/	/	/	/	/	0	2	4	0	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			89	1	9	39	64	8	17	11	17	47	17	2	21	6	200
			確率	11.1%		60.9%		47.1%			計	64					

樟蔭東

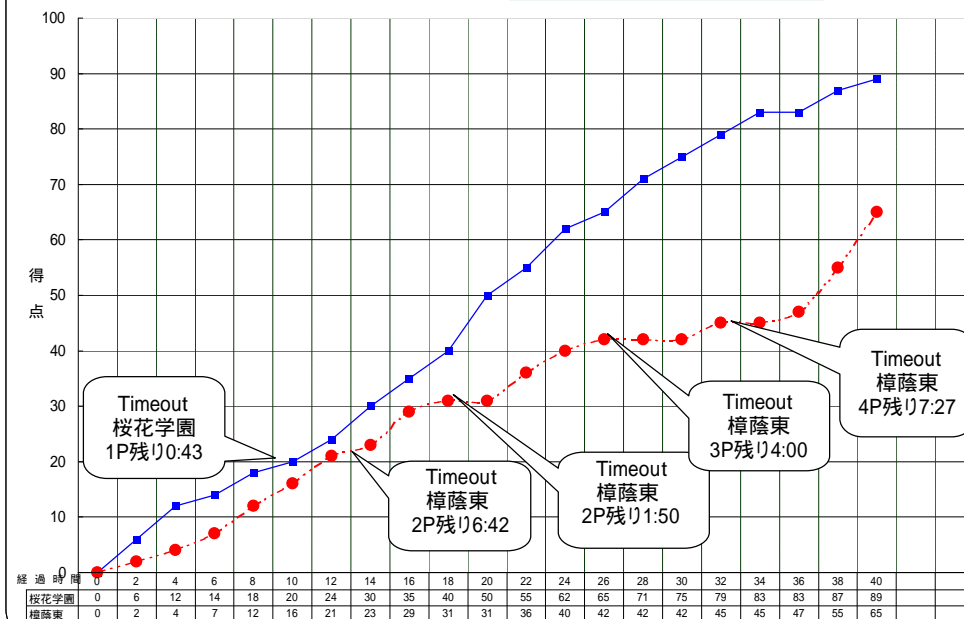
番 号	氏 名	出 場	得 点	3 P		2P		FT		反 則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					単位:分
4	藪 田 早 紀	X	25	3	12	8	13	0	0	3	0	1	1	3	2	0	40
5	牧 野 由 香	X	3	0	0	1	7	1	2	2	0	4	1	0	2	0	32
6	広 倉 綾 乃	X	7	1	11	2	5	0	0	2	0	2	1	0	3	1	39
7	井 上 万 理 乃	X	12	1	4	4	12	1	1	1	2	3	1	1	3	1	40
8	田 中 望 未	/	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
9	角 畑 莉 子	/	0	0	5	0	2	0	0	1	5	0	0	1	0	0	8
10	園 田 彬 香	X	18	0	0	7	17	4	6	4	0	5	0	2	0	0	36
11	吉 田 緑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	吉 谷 明 希 子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	朝 田 桃 子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	妹 尾 奈 津 美		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	金 澤 春 香	/	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	4
コー チ	森 田 久 鶴	/	/	/	/	/	/	/	/	0	8	5	1	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			65	5	32	22	57	6	9	15	17	20	4	7	10	2	200
			確率	15.6%		38.6%		66.7%			計	37	3P: スリーポイント				

彩夏到来 08 埼玉総体



2分毎による得点の推移

桜花学園 樟蔭東



戦評

全国トップクラスの選手を集め、高校界ナンバーワンの制空権をもつ女王桜花学園と監督を中心に根性バスケットを走り回る、浪速の義理、人情チーム樟蔭東の戦が始まった。

第1P、両チーム激しいマンツーマンディフェンスで開始。桜花学園はインサイド中心に#8丹羽が得点を重ねる。それに対して外角シュート、ドライブインで攻める樟蔭東は4分すぎにゾーンディフェンスに変えてリズムを崩す。リバウンドで勝る桜花学園は#8丹羽、#15渡嘉敷がゴール下を制し得点を広げる。樟蔭東#6広倉のドライブインからディフェンスを崩し、#4藪田の3P、#10岡田の1対1で追いつくが、20対16桜花学園リードで終了。

第2P、樟蔭東はゾーンディフェンスを続け、インサイドを堅く守るが、桜花学園#15渡嘉敷のブロックショットからリバウンドをとり、#8丹羽、#9本多がペイント内で得点を重ねる。樟蔭東は#4藪田のドライブインでくいついていくが、なかなかシュートが決まらない。桜花学園の司令塔#6岡本のインサイドパスもうまく決まり、50対31、桜花学園リードで後半へ。

第3P、樟蔭東はゾーンプレスで激しくプレッシャーをかけるが、桜花学園の勢いは止まらず、ディフェンスリバウンドからインサイドブレイク、#6岡本のドライブインなどで点差を広げる。樟蔭東は粘り強いルーズボールでくいついていくが、75対42で桜花学園リードのまま最終ピリオドへ。

第4P、元気な明るい応援を背に、諦めない樟蔭東は#10園田のドライブイン、#6広倉の3Pなどで意地を見せる。桜花学園は交代メンバーにうまくつなぎ、疲れの見てきた樟蔭東にプレッシャーをかける。結局高さを勝る桜花学園が89対65で勝利し、準決勝へ進出した。惜しくも勝利できなかった樟蔭東だったが、しっかりと埼玉に関西分が広まり、義理、人情も伝わった。ウィンターカップに向かい頑張ってもらいたいチームであった。

主審 渡辺 亮

副審 東 祐二

戦評 根本 靖雄 (埼玉県高体連)

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット